

真夏の夜の夢 湖底に沈んだ集落を再現

「あまわかこ天若湖アートプロジェクト2014 ～あかりがつなぐ記憶～」が、
ひよし日吉ダム（天若湖）にて開催されます。

このイベントは、平成10年に日吉ダムの建設により、天若湖底に沈んだ5つの集落（約120戸）の家々のあかりを、ダム湖面にLEDライトを浮かべ、再現するものです。

ダムを背景に水没集落のあかりが、時空を超えて漆黒の湖面に浮かび上がります。

1. 日 時 8月9日（土）、8月10日（日）19時頃～

2. 場 所 日吉ダム（天若湖）
京都府南丹市日吉町天若
（詳細は別紙のとおり）

平成26年7月31日



独立行政法人 みずしげんきこう水資源機構
日吉ダム管理所

発表記者クラブ

京都府政記者室
南丹市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 日吉ダム管理所

所長代理 よこい横井

住 所：京都府南丹市日吉町中神子みこヶ谷たに68

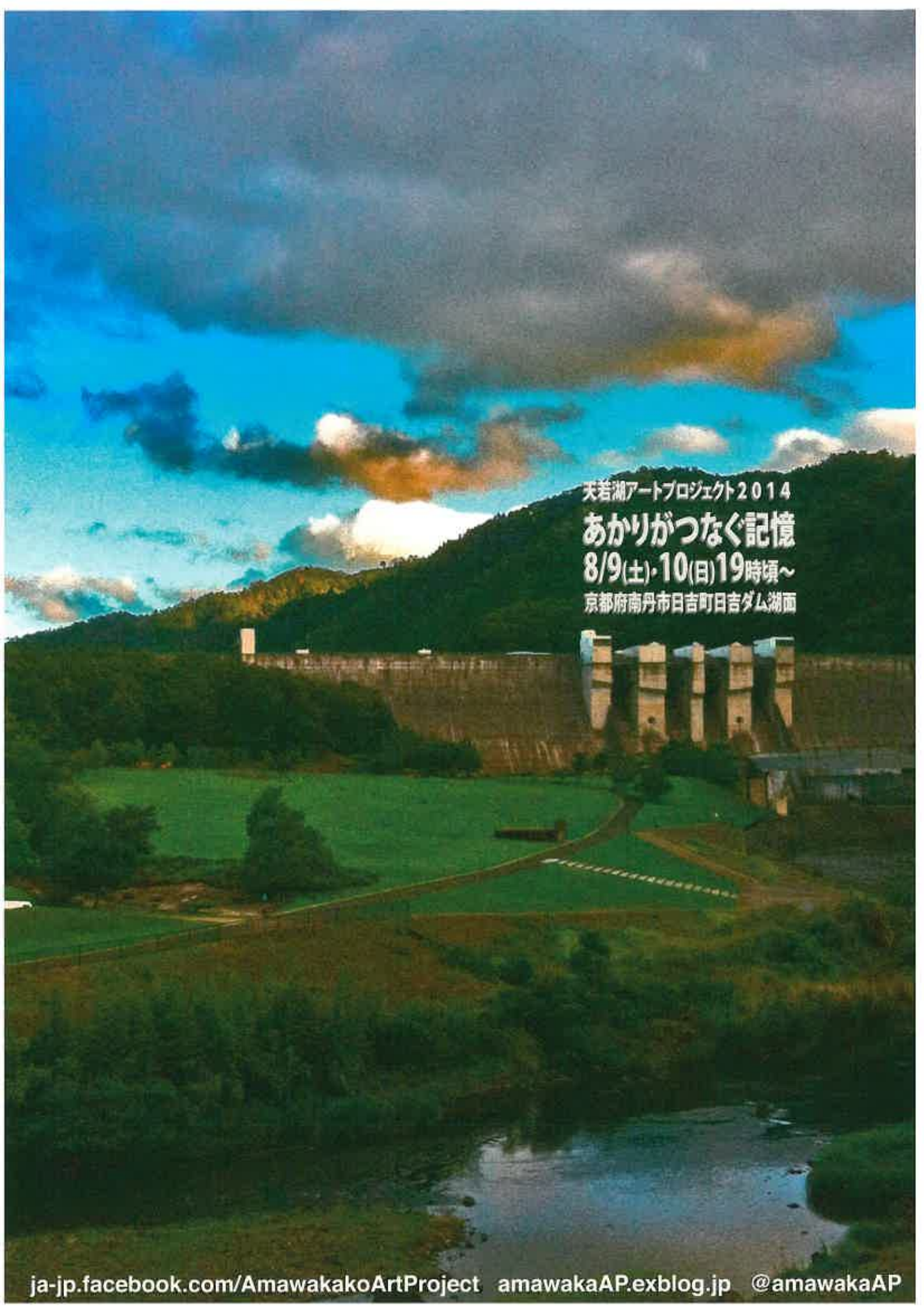
電 話：0771-72-0171

【別紙】

1. 行事名 天若湖アートプロジェクト2014 ～「あかりがつなぐ記憶」～
2. 主 催 天若湖アートプロジェクト実行委員会
※実行委員会のほか、市民団体「桂川流域ネットワーク」、NPO法人「アート・プランまぜまぜ」、日吉ダム水没移転者協議会、世木地域振興会、京都造形芸術大学・摂南大学の学生及び教員、地元（日吉町）住民、水資源機構日吉ダム管理所などが協力して開催します。
3. 目 的 風景とアートの力によって、水没地域、地元そして桂川流域の人々がともに触れ合うことにより、水没地域の方々の思いと、このダムの意味について、流域市民の相互理解と共感の場を創り出すこと。
4. 日 時 8月9日（土）、8月10日（日） 19時頃～
5. 場 所 日吉ダム（天若湖） 京都府南丹市日吉町天若
（詳細は別紙案内図のとおり）
6. 内容等 このイベントは、2005年から毎年8月に実施しており、今年で10回目を迎え、今では、南丹市日吉町の夏の風物詩として定着しています。
始まりは、2004年に「桂川流域ネットワーク」が実施した「湖面利用アイデアコンテスト」において提案された、ひとりの学生のアイデアをNPO法人「アート・プランまぜまぜ」が肉付けし、両者が天若湖アートプロジェクト実行委員会を結成して、開催に至ったものです。
当初は、湖底に眠る2つの集落を夜の湖面にあかりで再現しました。年々、再現する集落を増やし、2009年からは5つの集落（宮村、世木^{みやむら}林^せ、沢田^{さわだ}、楽河^{らくが}、上世木^{かみせぎ}）全ての約120戸の各戸を、LEDのあかりで再現します。
7. その他 両日、ガイド付きシャトルバスが、ダム直下流の道の駅「スプリングスひよし」発着で運行されます。
【運行時間】19時00分発 → 21時00分着
マイクロバス1台（定員約40名、先着順、予約不要）
ハイエース1台（定員8名、先着順、予約不要）
8. イベントに関する 天若湖アートプロジェクト実行委員会事務局
問い合わせ先 （京都造形芸術大学 環境デザイン学科 下村研究室内）
電話番号：075-791-9289（環境デザイン学科事務室）



【参考】天若湖アートプロジェクト2012「あかりがつなぐ記憶」



天若湖アートプロジェクト2014
あかりがつなく記憶
8/9(土)・10(日)19時頃～
京都府南丹市日吉町日吉ダム湖面

あかりがつなぐ記憶 8/9・10(土・日)

日吉ダム天若湖、湖岸より観覧 受付：スプリングスひよし

ダム湖に沈んだ5つの村の広がり、あかりで蘇ります。
全長4kmにわたる巨大なインスタレーションです。
9日(土)と10日(日)の日没から深夜、世木林観覧場のほか、湖岸道路の随所から眺めることができます。 無料
(荒天の場合中止される場合があります)

両日とも19:00ぐらいから、スプリングスひよしと世木林展望エリアを結ぶ無料シャトルバスが運行されます。送迎バス(JR 日吉駅 18:45 発、18:35 同駅着)福知山行きに接続も運行します。
また両日とも南丹市日吉町郷土資料館が、特別に延長開館します(詳しくは向館にお問い合わせください)。どんな村とどんな暮らしが沈んだのか、確かめてみてください。

桂川であそぼう！ 8/10(日)

スプリングスひよし吊り橋下の河原 11:00～15:00

Eポート(10人乗りのゴムボート)での川下りや、ストーンベインディングを行います。川を身近に感じるチャンス！
おとなも子どももお気軽に。摂南大学の水辺ふれあい活動のエキスパートたちがご案内します。 無料

水の杜展

8/9・10(土・日) スプリングスひよし2階ギャラリー

「桂川流域」や「ダム建設」といった天若湖アートプロジェクトのテーマは、ヒューマンスケールでは捉えにくい大きさや広がりを持っています。

しかし、「上流と下流」「過去と未来」をつなぐのは人間の行動や想像力以外にありません。

今年の「水の杜展」は、今年で10回目を迎える天若湖アートプロジェクトのこれまでに歴代ポスターなどで振り返るとともに、湖面と地域のこれからを展望します。 無料

フェイスブック

ja-jp.facebook.com/AmawakakoArtProject

公式ブログ

amawakaAP.exblog.jp

ツイッター

@amawakaAP

お問い合わせTEL

080-4028-7494

何はともあれ道の駅スプリングスひよしへ！

京都～日吉は1時間(JR)！ 送迎バスもあります！



■公共交通機関

JR 山陰本線(嵯峨野線)で、「京都駅」から「日吉駅」まで約60分。
「日吉駅」から南丹市営バス日吉ダム線で約10分。

■自動車

京都市内から国道9号西行き～京都縦貫自動車道園部IC～
府道19号経由で、約70分。

●主催：天若湖アートプロジェクト実行委員会 ●共催：桂川流域ネットワーク、NPO 法人アート・プランまぜまぜ ●後援：京都府、南丹市、南丹市教育委員会、NPO 法人近畿水の塾、●協力：世木地域振興会、日吉ダム水没移転者協議会、水資源機構日吉ダム管理所、日吉ダム水源地域ビジョン連絡会、南丹市日吉町郷土資料館、摂南大学石田ゼミ、摂南大学エコビル部、NPO 法人輪音プロジェクト、道の駅スプリングスひよし、ドイツカフェみとき屋 (順不同・交渉中の団体を含みます) ●助成：公益財団法人日本河川協会、京都府地域力再生プロジェクト支援交付金 (申請中のものを含みます)